

「人と環境にやさしい農業に取り組みましょう」

みなさんが栽培している農産物を、もっと人や環境にやさしく、そして消費者に安心して届けるために、「^{ギャップ}GAP」という手法があります。私たちと一緒に、GAPを実施してみませんか？

GAPって何？

Good Agricultural Practicesの頭文字をとった言葉です。

「食品安全」、「環境保全」、「労働安全」、「人権保護」及び「農場経営管理」の5つの分野について、整理整頓、農場のルール作りなどの実施、記録、点検、評価を行うことによる持続的な改善活動のことです。農林水産省では、令和12年までにほぼ全ての産地で5つの分野のGAPが実施されるよう、現場での効果的な指導方法の確立や産地単位での導入を推進しています。

農場経営管理

業務の効率化、コスト削減などに取り組みます。

食品安全

衛生管理や農薬使用時のルールを徹底します。

人権保護

外国人労働者、高齢者や障がい者の方に配慮した職場づくりを取り入れます。

環境保全

作物残さを堆肥にしたりすることで、ごみを少なくしています。節電、節水にも取り組みます。

労働安全

作業前の安全確認を徹底することで、農作業事故が起きない仕組みを実践します。



環境保全はどんなことに取り組むの？



適切な施肥による資源の節約



メンテナンスを定期的に行うことで燃料を節約

食品安全はどんなことに取り組むの？



農薬の安全管理を徹底



作業場の整理・整頓・清潔を常に心がける

GAPとSDGsのつながりについて

西讃農業改良普及センターは、人と環境にやさしい農産物を消費者にお届けするため、GAPに取り組む農家の皆様に応援しています。GAPは、農業をもっと持続可能にしていくための取組みであり、世界が目指す「SDGs（持続可能な開発目標）」とも深く関わっています。GAPに取り組むことは、安心・安全な農産物をつくるだけでなく、地球環境を守り、次の世代につなげていくことにもつながります。これからも、GAPに取り組む農家さんの活動や工夫を、たくさんの方に知っていただけるよう、情報を発信していきます。

